

レコード軽術

2015
秋
No.55

特集
「廃盤クラシック」時代到来
LP、EP&ソノシートで
よみがえる名演



7イレブ

ヒゲの隊長

いよいよ安保法制が成立
戦後日本のあり方が大転換



とじ込み
今月の資源保護



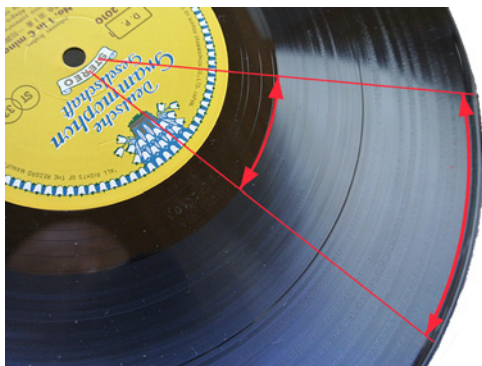
信頼のドイツを背負うフォルクスミュージック

Volksmusik AG

BWV社に続きO P U S社がグループ入り決定
記念にLPレコードの名盤100点を復刻開始

初めてLPレコードを聴かれる方へ

当社のLPを購入された方で聴き始めに比べ曲の終わりにになると音が悪くなるようだというご意見をいただくことがあります。



その現象はあります。原因は盤の回転数が一定ゆえ、上の画像で示すように内側の溝では外側より細かな凹凸を刻まざるを得ず、特にフォルテで特性の余裕がなくなるからです。

第一印象を与えるに重要な曲の冒頭だけを高音質にしてその後を手抜きしているのではありません。現象は原理的なものであり、会社ぐるみで見ぬふりをしているのでもありません。

大事なお知らせ

「戦争交響曲」の演奏は国民の理解を得られていません。ディスクを聴いてはいけません。飾っておいて下さい。



永田町管弦楽団
常任指揮者 安倍三振

本年が戦後70年になるのを期してまとめられたアルバムである。収録されているのは、抑留生活の歌にはじまり64年の東京オリンピックに使われたファンファーレやマーチ、そしてプッチーニの「だれも寝てはならぬ」など最近のイベン



■音楽で綴る戦後 70 年

安倍三振指揮 永田町管
弦楽団他

トで使われた音楽を短いナレーションで結んだものである。歌謡曲も多く、クラシックの範疇に収まらない曲が大半だが、フルオーケストラ用に編曲されているので取り上げた。

本アルバムの誕生までには多くの紆余

曲折があった。まず、戦後70年の区切りがなぜ必要なのかから始まり、曲の選定基準もイデオロギー問題も絡んで二転三転した。前回の60年記念アルバムで初めて入ったロシア由来の作品をとりあげたが、それを継承することを安倍が激しく抵抗。嫌々ながら指揮した演奏であることがわかれれば国民から猛反発が予想されるゆえ、パートナー関係にある千駄ヶ谷管弦楽団とその支持母体である宗教団体の協力で収録ができた。どの曲がそれに該当し、演奏したのはどのような団体かは明らかにされていない。

前回のアルバムと比べると、銅鑼や鐘など、仏教寺院で使われる楽器が多く登場する編曲となっている。これらは永田

町管弦楽団が所有していた楽器ではないゆえ、密接な関係にある宗教団体から提供されているのだろう。

永田町管弦楽団は民主的な手順を経て設立された国民のための仕事をするための団体である。政教分離の建前は表面的には守られているとはいえ、我々が知らないままいくつもの宗教団体から金銭の援助を受けているとあれば由々しい問題である。実態を知りたい。

どの曲をとっても難癖が付くアルバムではあるが、リスナーそれぞれは好きなジャンルの音楽を聴いて楽しければそれでいい。結局万人に受けるアルバムとして残っていくのだろうか。その作戦に乗せられないことを願いたい。

ジャスミン弦楽四重奏団はチュニジアの団体で、2011年頃からのいわゆる「アラブの春」と呼ばれる民主化の流れのさなかに生まれた団体である。チュニジアはかつてはフランスの植民地であり、イスラム教の縛りも緩く、アラブ諸国の



■モーツァルト 弦楽四重奏曲 第19番「不協和音」

ジャスミン弦楽四重奏団

中ではもともと女性の進出が進んでいる。このカルテットも半数が女性。注目すべきはメンバーのそれぞれの家系が役人、農民、職人、それに商人となっていることだ。日本に置き換えたなら士農工商だ。たまたまメンバーを集めたらそうなる

たのだといわれているが、今後メンバー交代があっても基本方針として守るのだという。そのわけはカルテットの生み出す音楽は国の基本的な産業にかかわる人たちが話し合いで築いたものであり、その演奏を聴きに來た人に国造りのエネルギーを感じ取ってもらいたいということらしい。

それにしても意欲的な選曲である。この弦楽四重奏曲にはモーツアルトの時代には変則的としかいえない和声が随所に用いられていて、写譜のミスといわれたこともあるという。

第一楽章の序奏部分ではモーツアルトの典雅な香りは消え、沈潜とした世界が提示される。どこかの数小節を取り上げ

たらベルクやシェーンベルクの作品と思われそうだ。第四楽章になるとモーツアルト本来の快活さが戻って来るが、手放しの明るさではなく、不協和音の影はなおも残る。

彼らの目指すべき社会は西欧的に秩序立てられた一見華やかな民主主義とは違うのではないか。多くの国で「アラブの春」がハッピーエンドをもたらさなかったのはなぜなのだろうか。

石油資源を巡り中東地域は大国にかき回され続けた。いろいろな文化が失われ、宗教の対立が残った。それでも西欧との関わり合いは続けざるをえないが、彼らが受け止めるモーツアルトはどうあるべきか、課題は尽きない。

歌劇「ドン・カルロ」は16世紀のスペイン宮廷での史実に基づいたオペラ。強大な勢力を持つスペイン王国とその圧政に苦しむ地域を舞台に王子カルロの恋の物語に揺れる王室が描かれている。

原作ではスペインの圧政に苦しんでい



■ヴェルディ 歌劇「ドン・カルロ」

ラクバ小浜 (T) 無頭貴
也 (Br) 他 中途元指揮
永田町管弦楽団

るのは現在のベルギー周辺のフランドル地方となっているが、このディスクの映像では東洋、それもチベットのような舞台が設けられている。タイトルロールのカルロを演じるラクバ小浜は日系アメリカ人、その親友のロドリーゴを演じる無

頭貴也は日本人ゆえ、それに合わせたかに見える。大国の圧政に苦しんでいる点では現在のチベットも同様であり、舞台作りもそれと関連させたのかも知れない。

ロドリーゴ演ずる無頭が好演。主役のカルロがかすむほどの存在感がありながら二人揃う場面では音楽的にはカルロの引き立て役に回っている。両者の心の通じ合いがなかったらこうはいくまい。ベストコンビである。

実はロドリーゴは実在の人物ではなく、シラーが戯曲化の際に付け加えた人物である。ストーリーの流れからもオペラの音楽的効果からもこの役は重要で、カルロとの親密さが観客に伝わらないといけない。その点ではこのディスクは本作品

のベスト・ディスクに推したい。

しかし、この公演および作品自体を一歩引いて眺めてみるとどうだろう。いくらカルロがロドリーゴの親友であっても、あれほどまで滅私奉公するのはなぜだろうか。危険を冒してもカルロの子分として働き、おまけに命を落とす。カルロの思いを受け入れるのに迷いはなかったのか、同盟関係は正義より優先されるのか、ロドリーゴはカルロに弱みを握られていなかったのか、原作の成り立ちにも及ぶことながら、いろいろ気になる。

もしかしたら、この日米の配役を成功させた影にあるのは無頭がLGBTのひとりであるからか、そんなことまで想いは巡ってくる。



教えて！ ヒゲの隊長

あげる



7エスチヨ7

マエストロ あれ？あかりちゃん？
あかり 知らない人かと思ったら、なんだヒゲの隊長のマエストロさんか。電車の中になれなれしく話しかけないでよ。いやらしいおじさんと思われるから。
マエストロ 今日はどこへ行ってきたんだい？

あかり 国会前の安保法制反対のデモへ行ってきたの。

マエストロ そりゃあ大変だ。ああいうところへ行くと就職に響くから行かない方がいいよ。それに、あかりちゃん、まだ未成年じゃないか。

あかり 未成年とおっしゃるけれど、来年になると18歳から選挙権が持てるというのに、大学生の私が政治に関心を持つていけないわけないでしょ。それにさ、デモは民主主義の一部、就職に響くなんて誰が言い出したの？60年安保に参加して、その後転向はしたかも知れないけれど大きなところで活躍した人たくさんいるわよ。自民党の中になつて。

マエストロ しかし、安保法制は国民の安全を守るには大切なことなんだよ。

あかり その説明に国民の大多数が満足して

ないから、こうなっているんじゃないの。これまで平和にやってこれたのに、何がいけないの。

マエストロ 日本を取り巻く環境は厳しくなってきたよ。

あかり 中国のことをいいたいのだろうけれど、歴史認識の問題などでこっちが火種を撒いている部分はあるんじゃないの？首脳会談もせずに仮想敵国を作っておき積極的平和主義はないでしょ。

マエストロ 平和ボケしててはいけないよ。

あかり そら出た。じゃあ「人類は皆兄弟」と歌いあげる「第九」の作詞者のシラーも作曲者のベートーヴェンも平和ボケ？

マエストロ おへそが茶を沸かすような能天気な歌詞だという人もいるよ。

あかり もしかして、それ、マエストロ自身のこと？あなたは「第九」を振ることがある

か知らないけれど、そんな気持ちで演奏されたらベートーヴェンの精神は伝わらない。

マエストロ 芸術家とその作品は別なんだよ。

あかり たとえアンサンブルに破綻がなくても、指揮している本人がそういう考え方を持っていると知ったら、やはり嫌。より高い精神を求めて演奏会にやって来る人をせせら笑うよう。小澤征爾さんだって言葉を選びながらだけれど、今の政治はおかしいといってますよ。

安倍首相を支持する層の一部は安保法制に反対する人たちのことを反日だとか、在日だとか、工作員とか、すぐいうけれど、中国生まれの小澤さんはまさしく当てはまるじゃん。直接言ったらいいか？そしたらマエストロ指揮のディスクも買うかも知れないけどね。サヨナラ。

シュレッダーはもう古い

どんなアイデアも気に入らなければ白紙にします



高性能イレーザー新発売

J.S. バッハも欲しかった？

トーマス・バッハ会長も推薦

こどもの声は騒音！

そんな理由で幼稚園や保育園の建設が全国で難航しています。国の将来にかかわる大問題です。



こどもの声は自然の一部。建設計画の説明会などでもっと美しい声を来場者に聞いてもらおうというのがこのディスクセットの企画のねらいです。

聖歌に始まり、子守歌、民謡、オペラ、交響曲など児童合唱が出てくる名曲 600 曲を CD30 枚に収録

マイミュージックカード制度が始まります



マイミュージックカードとCDを持参下さい。CDと同じ内容のデータがオントモのサイトからダウンロード可能になり、CDはリサイクル処理されます。

場所を取らず、自然に優しい新プロジェクトです

本券をCDに添えてお持ちいただいた方の中から抽選でリサイクル処理された材料で作った作曲家像を進呈



オントモ燃処理株式会社

有効期限 2015.10.1

編集後記

春の号から半年、国内政治は安保法案で揺れた日々が続きました。戦後最悪ともいえる醜悪な結末になりましたが、その間に政治への無関心が民主主義の危機を招くことを感じ取った若者たちが少しは増えたかと思えば救われます。

そして、本誌を含む多様な批判活動がなおも健在であることに感謝せねばなりません。

バックナンバーのハイライト、真面目なエッセイなどを
http://members2.jcom.home.ne.jp/s_yanagawa/
で見ることができます。

レコード軽術 '15 年秋号（通巻第 55 号）

2015.10.13 第 1 刷発行

編集発行人 柳川誠介
〒195-0054 町田市三輪町 539-119
TEL&FAX (044) 989-8510
s_yanagawa@jcom.home.ne.jp

印刷・製本 家内工業

